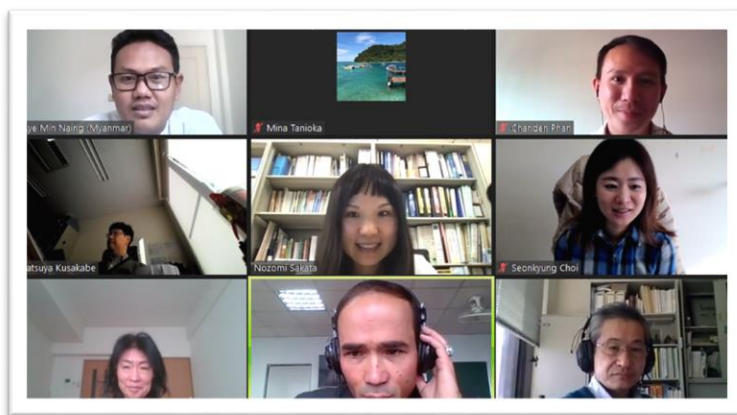


1月14日(木)

ZOOMでカントリーレポートとその内容に関する質疑応答が行われました。

1回目のカントリーレポートでは、アフガニスタンの教育計画・政策専門の参加者がアフガニスタンの教育実施計画のプレゼンテーションを行いました。

プレゼンテーションでは主に現在5ヶ年計画で実施中の教育政策についての説明がなされました。内戦などを含めたアフガニスタンの状況も要因の1つとなり未だ教育格差などの問題は残っているものの、ここ15年ほどで女子教育の普及や早期幼児教育の取り組みなどをはじめとして教育形態が改善されつつあることが分かりました。



また、プレゼンテーション後の質疑応答の時間には、各国の参加者から ECD(乳幼児期の子供の発達)やスクールマッピングなど、多岐にわたる質問が挙がりました。

これによって、初等・中等・高等教育がそれぞれ6年

間・3年間・3年間の期間で実施されていることや、教師の男女比の割合の理由などについて詳しく説明がされ、各国からの参加者は自国の教育政策の実施状況と比較しながらより詳細なアフガニスタンの教育政策や現状について把握することができました。

